

医局だより

HALLOWEEN



関東連合

こんにちは！

最近、街中はハロウィンムードが漂っています。ひと昔前はハロウィンなんて祝ってなかったはずなのに…なんて思いながらも、ハロウィン戦略にまんまとはまり、パン屋さんでお化けパン、かぼちゃパンをすでに3回も買ってしまいました。ハロウィンのデコレーションをみていると、たまに蜘蛛が混じっているのですが、ハロウィンの日に蜘蛛をみるとご先祖様に守られている証で、ラッキーなんだそうです。気持ち悪っ！と思わず、この日ばかりはラッキー！と逃がしてあげるべきなんだそうです。

さて本題です！10月15, 16日に山梨県甲府市で第144回関東連合産科婦人科学会が行われました。大学からはレジデントの二人が発表し、山中詩織先生が「原発性卵巣小細胞癌の1例」という演題で、小松紗友美先生が「川崎病による冠動脈瘤合併妊娠に対して異なる麻酔方法を用い経膈無痛分娩を施行した2例」という演題で発表しました。二人とも大変落ち着いており、緊張感は保ちつつもはじめてとは思えない堂々とした発表でした！質問も飛び交いましたが、すごく立派に答えておりました！この後、発表内容を論文化するわけですが、勉強した内容が頭に鮮明に残っている間に書き上げましょう！

写真があまりに遠く、すみません…ただ、二人の立派な姿をご覧ください！



そして、また、現在土浦協同病院におります東出凌先生が「妊娠 6 週の卵巣過剰刺激症候群による腫大した卵巣の茎捻転を Sonographic Whirlpool Sign で診断した 1 例」という演題で発表し、若手優秀演題賞を受賞しました！おめでとうございます！！東出先生もわかりやすい落ち着いた発表で、大学で以前発表した内容をさらに応用している！と私は思いましたが、ベテランの先生でも今後の診療において勉強になる興味深い内容でした。

最近は現地開催の学会も増えております。若手の先生も、登壇して緊張の中発表する機会が増えて、大変良いと感じます。コロナには継続して注意していきますが、改めて発表の機会は貴重なのだと実感しながら、大学だけではなく関連病院ともども、医局の先生みんなで臨床も研究も盛り上げていきましょう！また、HP を見に来てください！！

2022 年 10 月 24 日

文責：廣瀬 明日香